【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和6年9月18日(2024.9.18)

【公開番号】特開2024-22670(P2024-22670A)
【公開日】令和6年2月16日(2024.2.16)
【年通号数】公開公報(特許)2024-030
【出願番号】特願2023-210819(P2023-210819)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｄ 29/01(2006.01)
Ｂ０３Ｃ 1/00(2006.01)
Ｂ０３Ｃ 1/28(2006.01)
Ｆ２４Ｄ 3/00(2022.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｄ 29/04 ５１０Ｂ
Ｂ０１Ｄ 29/04 ５１０Ｃ
Ｂ０１Ｄ 29/04 ５１０Ｅ
Ｂ０１Ｄ 29/04 ５３０Ａ
Ｂ０１Ｄ 29/04 ５２０Ｚ
Ｂ０３Ｃ 1/00 Ａ
Ｂ０３Ｃ 1/28 １０７
Ｆ２４Ｄ 3/00 Ｖ

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月9日(2024.9.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
流体の流入口（５）と流出口（６）が形成された本体部（２）と、
前記本体部（２）の内部に設けられたフィルタ（２０）と、
前記フィルタ（２０）の表面から脱落する異物を捕集する、前記流体の流動範囲外に設けられた捕集部（９）と、
を有し、前記流入口（５）から流入した流体が、前記フィルタ（２０）を通過して前記流出口（６）に至る流路と、前記フィルタ（２０）の前記流入口（５）側を流れ、前記フィルタ（２０）を通過することなく前記流出口（６）に至る流路と、に分岐されるように構成されており、
前記フィルタ（２０）を通過することなく前記流出口（６）に至る流路の途中に、この流路の幅を狭める貫通孔（２３）が形成されており、前記フィルタ（２０）の表面の近傍に集められた異物が、前記フィルタ（２０）を通過することなく前記貫通孔（２３）を通って前記流出口（６）に至る流路を通る流動成分によって前記捕集部（９）で捕集される異物除去装置。
【請求項２】
前記本体部（２）と前記捕集部（９）が、仕切部材（１６）によって仕切られており、前記仕切部材（１６）の前記フィルタ（２０）の前記流入口（５）側に、前記貫通孔（２３）が形成されている請求項１に記載の異物除去装置。
【請求項３】

前記仕切部材（１６）の前記フィルタ（２０）の前記流出口（６）側に、前記本体部（２）と前記捕集部（９）を連通する貫通孔（２４）が形成されている請求項２に記載の異物除去装置。

–